

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所内手洗い水栓設備整備事業)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課			磯崎悠祐	64113

事業の概要									
事業の概要		庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新することにより衛生的な状態の確保を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		令和2年度	令和2年度						
地域の課題と現状		<p>現在区役所庁舎トイレ内手洗い水栓設備において、蛇口が閉まらず水が流れ続けてしまう不具合が複数箇所発生している。現在の状態では利用に支障をきたすため、早急に工事を行う必要がある。</p> <p>また、区役所庁舎トイレ内手洗い水栓は現在、蛇口を直接手で捻り水を出す方式なので、汚れ等が付着しやすく、清潔性の確保が難しいことや感染症等のリスクが存在する。自動水栓に変更することで、蛇口への直接接触をなくし、衛生的な状態の確保を行う必要がある。</p>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費					1,804	1,804		
	財源内訳	国庫支出金							
市債									
その他特財									
一般財源									

計画 (Plan)	
事業の目的	庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新し、衛生体制を整える。
今年度の事業の取組内容	庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</p> <p>1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 3. ほぼ目標どおり</p>							
取組内容の実績等	庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新を実施した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	自動水栓数	目標		32		台
				実績		32		
	2	活動指標		目標				
				実績				
3	活動指標		目標					
			実績					
4	活動指標		目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		近年、感染症等のリスクが高まっており、感染拡大を防ぐためにも庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新することが必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施(直近)年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	感染症等のリスクが高まる中、庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新することは必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新することにより、より堅実な庁舎内の衛生体制の確保が出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	庁舎トイレ内手洗い水栓設備の全てを自動水栓に更新した。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	庁舎トイレ内手洗い水栓設備を自動水栓に更新し、衛生体制の確保が出来た。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区役所内コロナ対策環境整備事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		高津役所まちづくり推進部総務課		川村	64113	

事業の概要									
事業の概要		新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、高津区役所庁内窓口等の継続的な運営において必要なアルコール消毒液及び来庁者の健康確認のため非接触温度計を購入する。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度 令和2年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費	
地域の課題と現状		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、高津区役所の窓口等における手指消毒用のアルコール消毒液及び来庁者の健康確認に使用する非接触の温度計の調達・配備は高津区役所の継続的な運営において不可欠である。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費							
財源 内訳	国庫支出金					155	155		
	市債								
	その他特財								
	一般財源					155	155		

計画 (Plan)	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、窓口等における手指消毒用のアルコール消毒液と来庁者の健康確認に使用する非接触温度計を購入し、高津区役所の継続的な運営に寄与する。
今年度の事業の取組内容	高津区庁内用のアルコール消毒液及び非接触温度計の調達

実施結果 (Do)											
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等		計画に記載した通りの内容を調達した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	目標							/		
		実績							/		
	2	目標							/		
		実績							/		
	3	目標							/		
		実績							/		
	4	目標							/		
実績								/			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、区役所の窓口等における手指消毒用のアルコール消毒液及び来庁者の健康確認に使用する非接触の温度計の調達・配備は区役所の継続的な運営において不可欠である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	取組により、庁内の新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市場在庫が減少する中、庁内における必要量を一括して確保することができた。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	方向性	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了 <div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 24px;">III</div> 今後、各所属において新型コロナウイルス感染症対策用品の調達などを実施することで、高津区役所の継続的な運営を担保する。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所庁舎入口ユニバーサルデザイン化事業)			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			671600	高津区役所まちづくり推進部総務課		磯崎悠祐	64113		

事業の概要									
事業の概要		庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新し、高津区役所庁舎をよりユニバーサルデザインに配慮した施設にする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		令和2年度	令和2年度						
地域の課題と現状		高津区役所庁舎の地下1階駐車場入口には、片開きスイングドアがある。主たる入口である片開きスイングドアは、経年劣化に伴う枠の歪みから扉と枠が接触して、開閉時に力を要する状態になっている。特に、力の弱い高齢者や荷物で手が塞がっている来庁者、ベビーカーを押している来庁者等には不便を生じている。また、もともとガラス扉で重量があることから、指を挟むなど不慮の事故への懸念もある。本市では、「かわさきバラムーブメント」を展開する中で、障害者差別解消法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)、福祉のまちづくり条例等を踏まえた取組みを進めている折から、早急に地下1階駐車場入口の片開きスイングドアを、自動扉に改修する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費					2,255	2,255		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財 一般財源					2,255	2,255	

計画 (Plan)	
事業の目的	庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新し、ユニバーサルデザイン設備を充実させる。
今年度の事業の取組内容	庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	自動扉	目標		1		基
				実績		1		
	2	活動指標		目標				
				実績				
	3	活動指標		目標				
				実績				
	4	活動指標		目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		近年、ユニバーサルデザイン設備の需要が高まっており、庁舎を快適に利用してもらうためにも庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新することは必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施(直近)年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ユニバーサルデザイン設備の需要が高まる中、庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新することは必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新により、より庁舎の快適な利用が可能となった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	庁舎内片開きスイングドアを自動扉の更新を完了させた。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	庁舎内片開きスイングドアを自動扉に更新し、より庁舎の快適な利用が可能となった。